

研修会名 : 第 146 回 岡放技セミナー  
主 催 : 公益社団法人 岡山県診療放射線技師会  
日 時 : 2023 年 1 月 22 日(日) 13:00 ~ 16:00  
( 受付・接続可能 12:30~ )  
場 所 : 岡山旭東病院 1F パッチアダムスホール  
開催方法 : 集会(予定)および Webinar  
( 参加方法などの詳細は岡山県診療放射線技師会  
ホームページ <http://www.oart.jp/> を参照ください )  
申込期間 : 2022 年 11 月 18 日(金) ~ 1 月 13 日(金)  
参加費 : 会員・学生は無料 非会員 2,000 円  
後 援 : 岡山県(予定)

- \*集会への参加は先着申込 30 名様に限ります。
- \*集会が中止となる場合は事前に HP にてお知らせいたします。
- \*岡放技セミナー研修会には「日本診療放射線技師会学術研修カウント」が付与されます。
- \*オンラインにつき何らかの通信障害が発生する可能性がありますことをご了承ください。

### — プログラム —

13:00 ~ 13:05 【会長挨拶】  
肺がん部会研修会

13:05 ~ 14:05 【教育講演】  
『 肺がんに対する放射線治療の現在 』  
津山中央病院 放射線科  
尾形 毅 先生

胃がん・大腸がん研究会  
14:10 ~ 16:00 【教育講演】  
『 症例から学ぶ 』  
佐賀県医師会成人病予防センター 中原 慶太 先生  
『 逐年発見症例の検討 』 コメンテータ:岡山県健康づくり財団  
中島 明久 先生  
木村 貴之 先生  
ファシリテータ:佐賀県医師会成人病予防センター  
中原 慶太 先生

/\*\* 講師の尾形先生よりメッセージ \*\*/



肺癌に対する放射線治療は従来から行われていますが、併用される化学療法の発達や放射線治療技術の進歩により、近年その治療成績は向上しています。

手術不能な早期肺癌に対しては体幹部定位放射線治療が保険適応となり、多門照射・回転照射・画像誘導放射線治療・呼吸同期照射、強度変調放射線治療などの技術を用いた高精度治療が行われるようになってきました。線量処方に関してもD95処方などのvolume処方に移行してきており、腫瘍に高線量を投与しつつリスク臓器の線量を可能な限り下げる試みがなされています。

局所進行肺癌に対しては、免疫チェックポイント阻害薬と放射線治療との組み合わせによって従来よりも良好な予後が期待できるようになりました。ただし放射線肺臓炎によって予定治療を中断せざるを得ない場合があり、放射線治療計画を行う際には従来以上に肺への線量に注意を払う必要があります。

現在は高度先進医療の枠組みで行われている陽子線治療についてもお話します。

/\*\* 講師の中原先生よりメッセージ \*\*/



胃 X 線検査の精度管理を行う上で、最も重要なことは何でしょうか？それは、「症例から学ぶ」ことであり、精度管理の原点・根幹ともいえます。日常で遭遇した1例1例の見直し検討を行い、コツコツと地道に積み重ねていくことです。これは X 線に限らず内視鏡などのモダリティを問わず、食道、胃、大腸など対象臓器、臨床や病理などの分野、医師や技師などの職種、ビギナーやベテランを問わず全てに幅広く共通することでもあります。

しかし、実際には自施設で実施するのが容易でない場合も少なくないので、有志による症例検討会に積極的に参加するのが推奨されます。

症例検討会における論点や疑問点は症例によって様々ですが、被検者1人1人により正確な画像診断を提供するために必要な撮影や読影とは何か？を、自分なりにあれこれ考えることや皆で議論するプロセスがとても大切なのです。

当日は、このような趣旨で私見をお話しさせていただきます。